

二級河川藤井川水系河川整備計画アンケート結果と
河川整備計画への反映

広島県

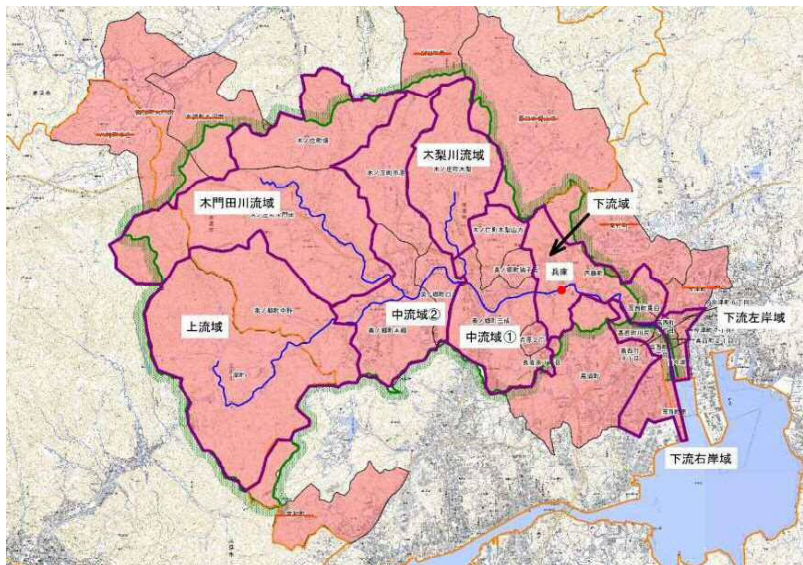
目 次

	頁
1. アンケート調査概要	1
2. アンケート調査票	3
3. アンケート調査結果	5
3.1 基本属性	5
3.2 川に対して感じていること	9
3.3 洪水に対する防災意識について	10
3.4 その他（自由意見）	13
4. アンケート調査結果による河川整備計画への反映	15

1. アンケート調査概要

(1) 調査対象者

アンケート調査は、紙媒体の調査とWEB調査を実施した。紙媒体では発注者との協議のもと、流域内及び氾濫原の各世帯を対象として日本郵便株式会社のサービスである「タウンプラス」を使用し、WEB調査では広島県HPに公開し回答を得るものとした。



アンケート配布範囲

※流域及び氾濫原に関わる対象の地域とした上で、50%以上を占める地区を設定するとともに、氾濫原からも距離がある場合は、JR等による詳細範囲を設定し配布した。

配布にあたり、藤井川流域の上・中・下流がわかるよう地域分類を実施した。

(2) 配布数

<紙媒体>

10,910部：日本郵政株式会社の各戸郵便受け設置数による集計

<WEB媒体>

無制限：広島県HPに紙媒体と同じ内容のアンケート（Excel形式）を掲載

(3) 配布方法

紙媒体の配布方法は、次のとおりとした。

【配布方法】：タウンプラス（角2封筒）

【配布資料】：整備計画説明書（A3カラー両面2つ折）、アンケート調査票（A3白黒両面2つ折）、返信用封筒

(4) アンケート調査期間

アンケート調査期間は、次のとおりとした。

令和元年11月25日（月）～令和元年12月9日（月）（15日間）

(5) アンケート回収率

アンケート回収率は以下のとおりである。

形式	配布数	回答数	回収率
紙	10,910通	2,432通	22.3%
WEB	無制限	7通	-

※令和元年12月15日消印のあるものを対象とした。

2. アンケート調査票

アンケート調査票は、以下に示すとおりである。

■河川整備計画とは・・・

【河川整備計画について】
河川整備計画は河川法により、概ね今後30年間の、藤井川水系の整備の内容と区間の計画を策定し、地域の皆様のご意見を踏まえて、お示しするものです。

四 計画策定の流れ

広島県
〒720-8511 福山市三吉町一丁目1-1
TEL (084)921-1311 FAX (084)931-9236

広島県からのお願い

**藤井川水系の川づくりについて
みなさんのご意見をお聞かせください！**

日頃より、広島県行政の推進にご協力いただき、御礼を申し上げます。
藤井川水系では、近年でいえば、平成20年・平成30年などに、豪雨に伴う河川の溢水などによる浸水被害が発生していることから、広島県では「藤井川水系河川整備計画」の策定を予定しています。
計画策定に際し、地域の皆様が日頃から感じていることや川に求めるものなどを広く伺い、計画策定の参考とさせていただきます。アンケート調査を行います。
より良い「川のありかた」の検討のため、ご協力をお願い致します。

別紙「アンケート調査用紙」にご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、令和元年12月9日(月)までに返してください(切手は不要です)。

※ このアンケートにより収集した情報は、河川整備計画の作成にのみ使用いたします。
※ アンケート調査の結果は、「第21回河川整備基本方針等検討委員会」の中で報告するほか、広島県河川課のホームページに掲載させていただきます。
※ 本アンケートは下記のURLからも回答できます。
※ アンケート調査用紙は広島県東部建設事務所でも入手可能です。
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshoku/09/saiboku/09/saiboku/09/pabukome.html>
(「広島県 河川課 整備計画 アンケート」で検索)

藤井川の概要

河川と流域の概要

藤井川は、平野部、丘陵部、山間の3種から成る流域を流れる河川で、流域延長156kmの二級河川です。その河口は、三洲市深川に発生し、途中、支川木戸川も、本川を合流し松浜川に合流しています。
流域の土地利用は、約7割以上を山林が占めており、河川及び河口付近に農地や宅地が点在し、特に中流域の丘陵部や三洲市高地区において河川氾濫に警戒されています。

浸水被害の発生状況

平成30年7月6日の豪雨で、本川を含む浸水被害が発生しました。

年月日	原因	浸水被害(棟)		
		床上	床下	計
2018.10.13~16	豪雨(台風10号)	4	0	4
2020.9.28~9.2	8月豪雨	0	7	7
2020.7.6	梅雨前線	9	2	11

藤井川の河道状況

- 1. 下流域 河口部(山より上流を望む)
- 2. 下流域 丘陵部(山より下流を望む)
- 3. 中流域 山より下流を望む
- 4. 中流域 丘陵部(山より上流を望む)
- 5. 上流域 河口部(山より下流を望む)
- 6. 上流域 丘陵部(山より下流を望む)

アンケート調査用紙

このアンケート調査用紙は、河川整備計画の策定に際し、地域の皆様からご意見を伺うためのものです。ご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、令和元年12月9日(月)までに返してください(切手は不要です)。

※ このアンケートにより収集した情報は、河川整備計画の作成にのみ使用いたします。

※ アンケート調査の結果は、「第21回河川整備基本方針等検討委員会」の中で報告するほか、広島県河川課のホームページに掲載させていただきます。

※ 本アンケートは下記のURLからも回答できます。
※ アンケート調査用紙は広島県東部建設事務所でも入手可能です。
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshoku/09/saiboku/09/saiboku/09/pabukome.html>
(「広島県 河川課 整備計画 アンケート」で検索)

お問い合わせ

このアンケート調査用紙は、河川整備計画の策定に際し、地域の皆様からご意見を伺うためのものです。ご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、令和元年12月9日(月)までに返してください(切手は不要です)。

※ このアンケートにより収集した情報は、河川整備計画の作成にのみ使用いたします。

※ アンケート調査の結果は、「第21回河川整備基本方針等検討委員会」の中で報告するほか、広島県河川課のホームページに掲載させていただきます。

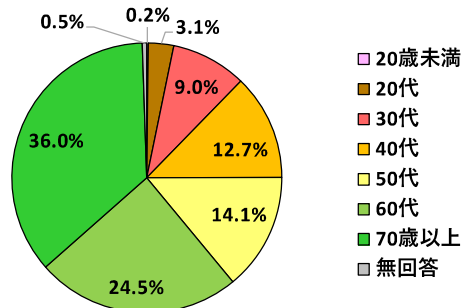
※ 本アンケートは下記のURLからも回答できます。
※ アンケート調査用紙は広島県東部建設事務所でも入手可能です。
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshoku/09/saiboku/09/saiboku/09/pabukome.html>
(「広島県 河川課 整備計画 アンケート」で検索)

3. アンケート調査結果

3.1 基本属性

質問 1. あなたの年齢を教えてください。

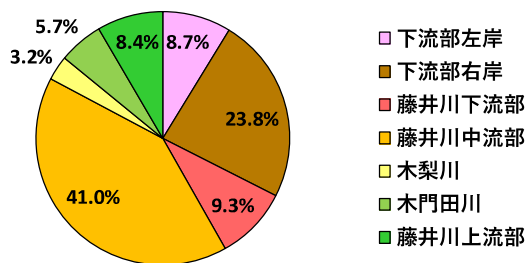
回答した人の年代で最も多いのは「70歳以上」であり、続いて「60代」、「50代」の割合が高く、60歳以上の回答者が全体の約60%と高い割合を占める。



回答数 2,439

質問 2. あなたのお住いの地域を教えてください。

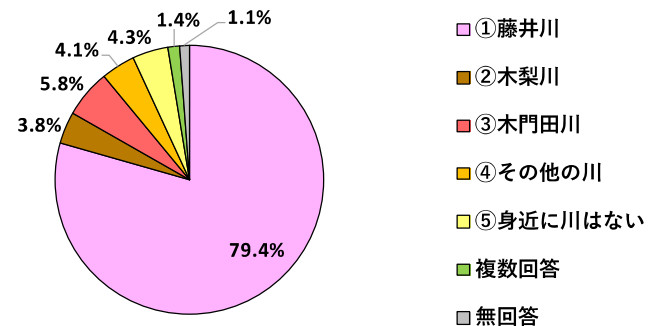
藤井川中流部において、約41%となっており、美ノ郷町三成、美ノ郷町本郷の回答数を占める。下流部左岸右岸の氾濫原となる区域が次いで約33%となっている。



回答数 2,439

質問 3. 藤井川水系において「身近な川」はどれですか

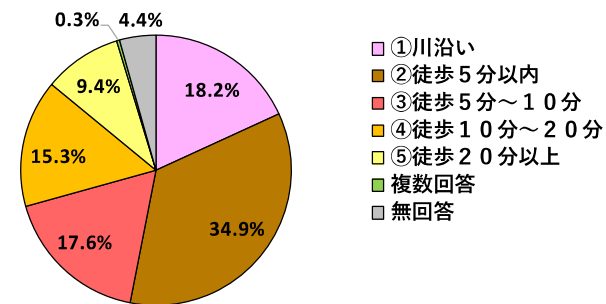
身近に感じる河川としては、藤井川本川が約80%を占める。支川は木梨川と木門田川がそれぞれ約5%を占める。



回答数 2,439

質問 4. あなたが現在お住いの場所は、「身近な川」からどのくらいの距離ですか

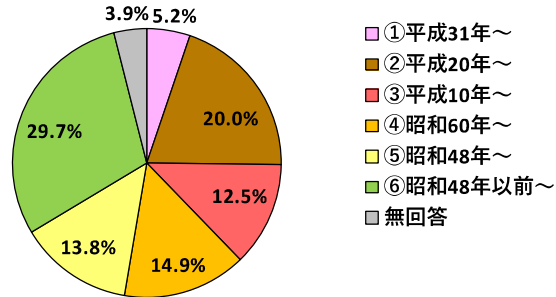
川から徒歩5分以内と回答した人が概ね半数を占める。



回答数 2,439

質問 5-1. あなたはいつから現在の場所にお住まいですか

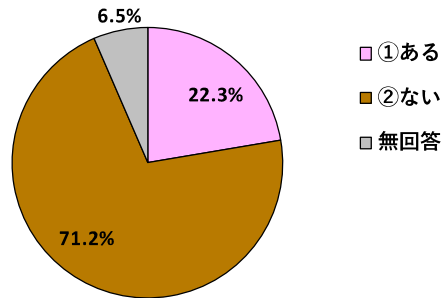
「平成9年以前」から住んでいると回答した人が約70%を占め、平成11年出水以前から居住されている方が多い。



回答数 2,439

質問 5-2. 現在お住まいの場所で水害を経験したことがありますか

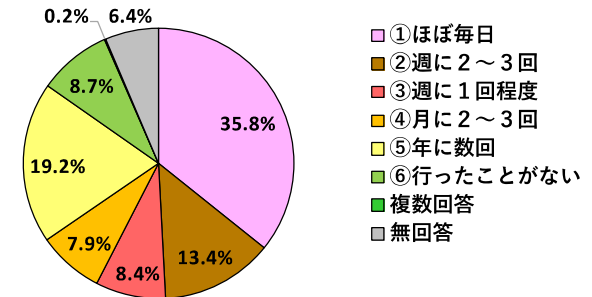
水害を経験したことがある方が約20%、経験したことのない方が約70%である。



回答数 2,439

質問 6. 「身近な川」を訪れるのはどの程度ですか

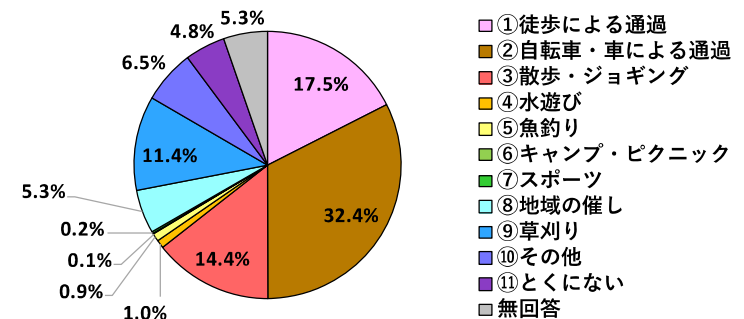
「身近な川」を訪れる頻度について、週に2～3回以上が約半数を占めている。一方で、年に数回以下が約30%を占めている。



回答数 2,439

質問 7. 「身近な川」を訪れる主な目的は何ですか

「身近な川」を訪れる主な目的としては、徒歩や自転車・車による通過が約半数を占め、最も多い。次いで、「散歩・ジョギング」(約15%)、「草刈り」(約10%)が多い。



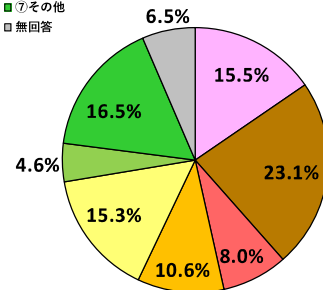
回答数 3,595
複数回答

3.2 川に対して感じていること

質問 8. 現在、「身近な川」に対してどのように感じていますか

現在、「身近な川」に対してどのように感じていますかという問いに対して、藤井川水系においては「色々な動植物が生育・生息している、自然豊かな川である」が約 25%と最も多い。次いで、「水害が起こらず、安心できる川である」「きれいな水が流れている川である」がそれぞれ 15%と高い割合を占める。

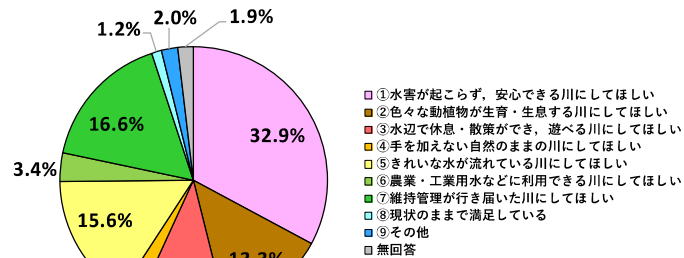
- ①水害が起こらず、安心できる川である
- ②色々な動植物が育成・生息している、自然豊かな川である
- ③水辺で休息・散策でき、遊べる川である
- ④農業・工業用水などに利用されている川である
- ⑤きれいな水が流れている川である
- ⑥よく維持管理された川である
- ⑦その他
- 無回答



回答数 3,676
複数回答

質問 9. 今後、川に対して特に何を期待しますか

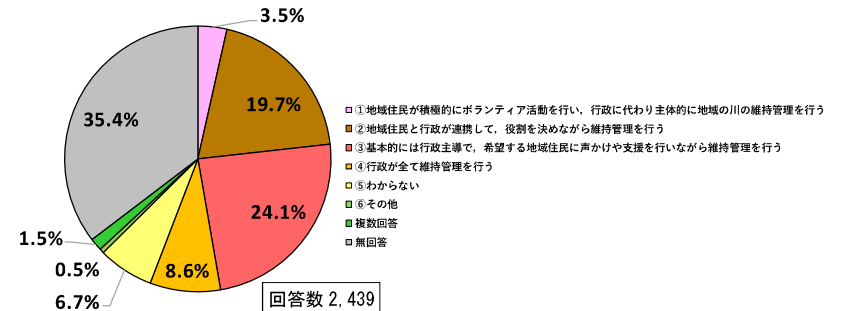
今後、川に対して期待することとしては「水害が起こらず安心できる川にしてほしい」が約 30%と最も多く、次いで「維持管理が行き届いた川にしてほしい」「きれいな水が流れている川にしてほしい」が、それぞれ約 15%と多い。



回答数 6,030
複数回答

質問 10. 平常時における川との関わり方に関する考えに、最も近いものを選んでください

平常時における川との関わり方に関する考えへの回答は「基本的に行政主導で、希望する地域住民に声かけや支援を行いながら維持管理を行う」が約 25%と最も高い。次いで、「地域住民が積極的にボランティア活動を行い、行政に代わり主体的に地域の川の維持管理を行う」が約 20%を占める。

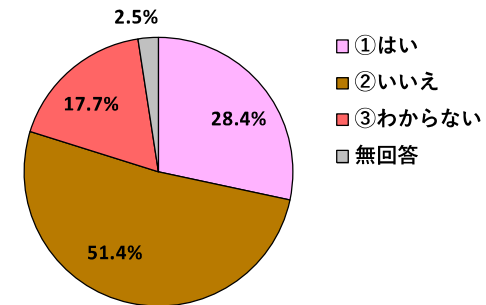


回答数 2,439

3.3 洪水に対する防災意識について

質問 11. あなたの住んでいる場所は、洪水に対して安全だと思いますか

住んでいる場所は洪水に対して「安全でない」と考えている人が過半数を占め、「安全である」と考えている人の割合は 30%未満にとどまる。

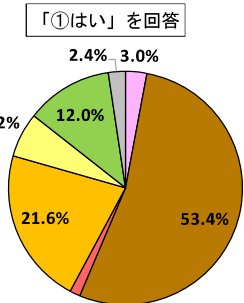


回答数 2,439

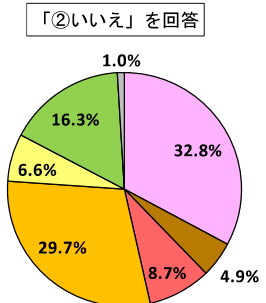
質問 12. 質問11で「①はい②いいえ」を選択した理由をお聞かせください

質問11の「①はい」の回答理由は「過去に洪水被害に遭ったことがないから」が過半数を占め、「②いいえ」の回答理由は「過去に洪水被害に遭っているから」と「市町のハザードマップをみたから」がいずれも約30%と多い。

- ①過去に洪水被害に遭っているから
- ②過去に洪水被害に遭ったことがないから
- ③人に聞いたから
- ④市町のハザードマップをみたから
- ⑤なんとなく
- ⑥その他
- 無回答



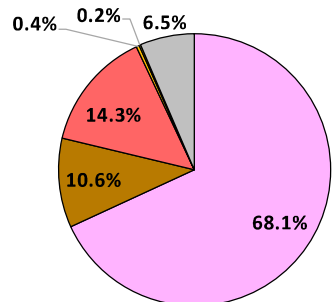
回答数 802
複数回答



回答数 1,561
複数回答

質問 13. お住いの地域のハザードマップを見たことがありますか

ハザードマップを見たことがある人は約70%と高い割合を占める。

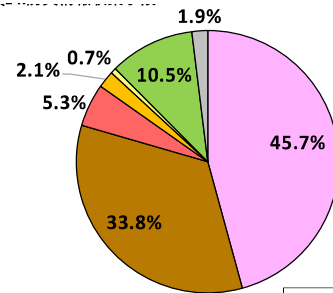


- ①見たことがある
- ②言葉だけ知っている
- ③見たことがない
- ④その他
- ⑤複数回答
- ⑥無回答

回答数 2,439

質問 14. あなたが防災情報の収集を行う際に、最も利用するものは何ですか

防災情報の収集を行う際に、最も利用するものとしては「テレビ・ラジオ」(約45%)とインターネット(約35%)が多い。

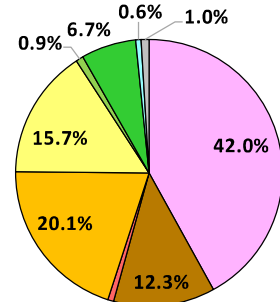


- ①テレビ・ラジオ
- ②インターネット (パソコン・携帯電話・スマートフォン)
- ③市町の防災無線・広報車
- ④周囲の人から聞く
- ⑤その他
- ⑥複数回答
- ⑦無回答

回答数 2,439

質問 15. 防災に関する知識を、あなたはどのように入手していますか

回答者の約40%が「テレビ・ラジオ」で防災に関する知識を入手している。次いで「インターネット」(約20%)、「自治体などのパンフレット」(約15%)、「新聞・雑誌」(約10%)が多い。



- ①テレビ・ラジオ
- ②新聞・雑誌
- ③学校での教育
- ④インターネット
- ⑤自治体などのパンフレット
- ⑥自治体やNPOなどによる講演会
- ⑦自治会など地域の集会
- ⑧その他
- ⑨無回答

回答数 4,685

3.4 その他（自由意見）

質問 16. その他、河川全般についてお気づきの点などありましたら、お聞かせください

自由意見について、本文の構成と同様に、「治水」、「利水」、「環境」、「河川情報提供」、「その他」に関わる分類を行った。
 なお、代表的な意見について、以下に列挙した。

回答数 839

治水に関する意見

- ・海抜 0m 地帯に宅地があり、満潮時には水位が高く不安です。
- ・支川や水路がバックウォーター現象で逆流しています。
- ・より安全で、決壊しない堤防を作ってほしい。
- ・異常気象の大雨に対し不安であるため、想定以上の予測で整備に望むことが必要と考えます。
- ・急を要する箇所や除草等が不要となるよう早急にコンクリート等の整備をしてほしいです。

利水に関する意見

- ・断水時に弾力的に活用可能な河川（水源として）として欲しい。

環境に関する意見

- ・遊歩道や散策道、水辺に降りれるようなスロープ等を整備願います。
- ・治水対策も重要であるが、虫や魚がすみやすい自然に配慮した整備をしてください。
- ・養老温泉・浦島温泉の活用や藤井川沿川を月の観察等ができる場所をつくり、藤井川を観光資源として利用してもらいたい。
- ・農業や下水処理の対策をしてもらえないでしょうか。きれいな水の町でありたい。

維持管理に関する項目

- ・河床が高くなっていると思います。川の中の土砂や木など定期的に掃除してほしいです。
- ・町内会で河川の草刈りしてますが全般に高齢化が進み体力的にきついです、行政が主体で行い地域住民の負担を減少して下さい。
- ・河川の点検を定期的に行って欲しい。支流の川の老朽化、破損も進んでいる。
- ・洪水後、護岸が損傷しているところがあるため、早急な復旧が必要である。
- ・河川清掃をしています、高齢化や危険が伴うため、今後は県の方でも定期的を実施してもらえないでしょうか。

河川情報の提供に関する項目

- ・防災ラジオや広報による連絡が聞こえないため、関係機関等と協力して情報発信してほしい。
- ・避難の仕方について確認する必要があると思います。

その他に関する項目（本文）

- ・竜泉寺ダム緊急放流(通報)と協定書操作規定の見直を望みます。
- ・土地利用の制限を行い、事前に家屋等を洪水から守るほうがよい。
- ・河川の整備よりも山間部の整備の方が遅れているように思います。

その他に関する項目

- ・行政の対応に不満がある。
- ・アンケートに、ハザードマップを記載したほうが地域に浸透したのではないのでしょうか。
- ・海抜 0m 地帯に住んでいますが、ポンプ施設をつけてもらえないのでしょうか。(他河川)
- ・道路拡張やガードレール整備の要望
- ・ため池や用排水路が溢れるので管理してください。

住民意見の総括表

分類	NO	住民意見の総括表	
		小分類	具体的な内容
治水	1	全般	治水全般に関する意見・要望(下記分類できない治水全般の意見)
	2	高潮・津波対策等	高潮対策、津波対策、耐震対策の検討の要望
	3	内水・支川処理対策	内水氾濫させないような整備の検討に対する意見・要望
	4	整備手法	整備手法のあり方(河床掘削・樹木伐採・除草・護岸整備・堤防強化等)に対する意見・要望
	5	気候変動	想定外の外力による災害に対する整備の意見・要望
	6	改修促進	確実に整備するよう働きかける意見・要望
利水	1	全般	利水全般
環境	1	全般	環境に関する意見・要望(下記分類ができない環境全般の意見)
	2	河川利用	駐車スペースの設置等の要望
	3	動植物	動植物に配慮した意見・要望
	4	景観	景観に配慮した整備の意見・要望
	5	水質	水質に関する意見・要望
維持管理	1	全般	維持管理全般に関する意見・要望(下記分類ができない維持管理全般の意見)
	2	維持・掘削・維持伐採	堆積土砂撤去や樹木伐採における意見・要望
	3	除草	除草の手法や実施状況に対する意見・要望
	4	河川清掃	河川清掃に対する要望
	5	災害復旧工事	災害復旧工事に対する意見・要望
	6	河川清掃	河川清掃に関する意見・要望
河川情報	1	ソフト	災害時の情報伝達のあり方に対する意見・要望
	2	避難訓練等	災害時を踏まえた避難訓練実施の要望
その他 (本文に該当する内容)	1	ダム関連	ダム放流等に対する意見・要望
	2	土地利用	土地利用制限に関する意見・要望
	3	土砂災害	砂防、治山に対する意見・要望
その他	1	全般	行政に対する意見(危機感が低い、住民意見が全く反映されない等)
	2	アンケート	アンケートの意見に対する意見、結果公表希望等の要望
	3	他水系河川	他河川に関する要望(内水区域を含む)
	4	浸水メカニズムの説明	個別箇所のメカニズム説明
	5	その他	その他
	6	用排水路等	ため池や用排水路、支流の管理に関する意見

4. アンケート調査結果による河川整備計画への反映

アンケート調査結果より、全 839 件の回答に対し、詳細に分類を行い、個別意見も含めて、河川整備計画への反映内容を整理した。

なお、ご意見に対する具体的な対応として、二級水系藤井川水系河川整備計画(案)の本文について、修正及び追記を行った。

分類		意見概要	意見数	本文への対応箇所
項目	小項目			
治水	高潮 ・津波対策等	川の下流と海が近く水害になる事を懸念している。特に地震による津波に・・・	1	3.1(1) 追記 1/30年確率の波浪や耐震も考慮した
		海拔0m地帯に宅地があり、満潮時には水位が高くて不安です。	8	
維持管理	維持掘削 ・樹木伐採	河床が高くなっていると思います。川の中の土砂や木など定期的に掃除してほしいです。	230	3.2.1に追記 この計画に基づき、河川巡視や出水期前・出水後など適切な時期に点検を実施し、状態把握及び評価を行い、その点検結果を蓄積するとともに必要な対策を実施することで、「河川管理施設」の機能の維持に努めます。
		コストを考えた維持管理方を検討し、行政間での改善をしてほしい。	1	